



關門海底隧道起工

技術日本を世界に誇るべき關門海底隧道工事起工式は薄曇りの九月十九日午前十時より門司市小森江町住友炭礦所有廣場において鐵相代理田子鐵道政務次官、畑山福岡、戸塚山口兩縣知事釘宮下關改良事務所長以下關係者をはじめ名士三百餘名列席の下にいと厳肅に舉行され、工事の指揮官釘宮下關改良事務所長の處女鍬一閃の下に海峽急潮の下を潜る世界的難工事の幕は切つて落された。

式典は神式により祭主岩崎赤間神宮宮司の修祓に始まり鍬入れ式玉串奉典に次いで釘宮所長の式辭、鐵道大臣その他の祝辭あり意義深き盛典を閉じた。

かくて世界學界の注視と全國民待望の裡に關門隧道工事はいよいよ門司側小森江縦坑掘鑿から一步を踏み出した、この記念すべき起工式に當り釘宮所長は次の感想を述べ大事業制覇の覺悟を披瀝した。

『科學日本の名譽にかけて完成を期するこの世界的事業を指揮采配することは技術者としてこの上なき本懐であると共にその責任の重大さを痛感してなおります、假令海峽の人柱となるともこの難工事を克服せずんばやまない覺悟であります。國鐵の精銳をすぐつた従業員も等しく同じ覺悟で力の限りを盡し勇往邁進完成を期してなおります。』(寫眞は釘宮磐氏)